

平素より医療関係者、介護関係者の皆様におかれましては若松在宅医療・介護連携支援センター（以下、当センター）の事業にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

【とびうめ@きたきゅうが北九州市内全域で利用開始】

昨年11月より八幡地区でモデル実施となっていました「とびうめ@きたきゅう」が今年6月より全市展開となりました。若松区は全市展開以前から登録のご協力をいただき、登録者数は8月中旬時点で1,450名を超えています。コロナ禍にも関わらず登録件数が増加しているのは、「大切な方のために」と働きかけて下さったからだと思います。ご協力いただきありがとうございます。

7月の地域ケア研究会でも「とびうめ@きたきゅう」について取り上げていただき、北九州市保健福祉局地域医療課：青木課長より『とびうめ@きたきゅうについて』、八幡在宅医療・介護連携支援センター：松本氏より『とびうめ@きたきゅう 八幡での実施状況報告』についてお話いただきました。定員を50名と制限されていましたが、満席で開催され、終了後も用意していたポスターや登録申出書を多くの方がお持ち帰り下さり、改めて皆様の関心の高さを実感することが出来ました。



「とびうめ@きたきゅう」は登録者が受けた医療・介護・健診の情報の一部をネットワークを通じて、医療機関等で共有することにより、万が一の時に適切で迅速な医療の提供とスムーズな入退院支援を情報面から支える取り組みです。既存のとびうめネット専用回線を利用した北九州独自の診療情報ネットワークで、患者さんや利用者さんに1枚「登録申出書」を書いていただくとその方の基本情報、緊急連絡先に加え、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険を利用した際の行政提供情報が自動的にとびうめネットに入り、登録した医療機関で閲覧できるというものです。登録申出書を提出していただいたから、1ヶ月～1ヶ月半くらいで閲覧可能になります。

市民の方は、あらゆるところで「とびうめ@きたきゅう」のポスターを目にされます。信頼する医療・介護の方々が登録を勧めて下さることで、1人でも多くの方が「万が一の時」に適切で迅速な医療の提供とスムーズな入退院支援を受けることが出来るようになります。連携がスムーズになると、それは患者さん、利用者さんの安心に繋がります。不明な点等ございましたら、私共が説明に伺いますので、当センター（電話：752-1117）までお声掛けください。何卒宜しくお願い申し上げます。



センターだよりも発行開始から2年目となりました。当センターの業務内容などを多くの方に知っていただきたく、今年度から配布先を拡大して発行しています。

今年は新型コロナウイルス感染拡大のため、予定していました業務が実施できていないため、現在は「とびうめ@きたきゅう」の普及活動を中心に若松区内各所を訪問しています。1人でも多くの方の安心に繋がることを願って、ご協力の程、宜しくお願いします。